

令和8年9月3日 役員会議事要録

出席 藤井総長

相原、森山、玄田、山本、林、津田、菅野、桑原、井上、岩村 各理事

陪席 亀井、山口 各監事

浅見、大越、岡部、岸、久米、小関、坂田、佐藤、染谷、田浦、出口、岩垂、高橋、福島、三島 各執行役

津田理事から、役員会における今後の議事運営について、説明があった。

令和8年7月23日役員会議事録（案）（資料0）は、確認の上、原案どおり了承された。

<審議事項>

1. 「民間企業等から資金等を受け入れて行う研究・教育における制度の改革策」を受けた対応（共同研究／受託研究／学術指導）（資料1）

玄田理事から、「民間企業等から資金等を受け入れて行う研究・教育における制度の改革策」を受けた対応（共同研究／受託研究／学術指導）について、資料1のとおり説明があった。

次いで、津田理事から本件について諮り、審議の結果、原案どおり了承された。

・案件数が多いことを踏まえ、業務効率化の検討状況はどうか。

→担当部局で効率化を検討しているが、一定の負担は生じるため、今後も部局等の意見を踏まえて必要な見直しを行う。

2. 就業規則等の改正（令和8年10月1日改正）（資料2）

井上理事から、就業規則等の改正について、資料2のとおり説明があった。

次いで、津田理事から本件について諮り、審議の結果、原案どおり了承され、教育研究評議会に付議することとした。

3. 東京大学遺伝子組換え生物等の使用等実施規則の一部改正（資料3）

玄田理事から、東京大学遺伝子組換え生物等の使用等実施規則の一部改正について、資料3のとおり説明があった。

次いで、津田理事から本件について諮り、審議の結果、原案どおり了承され、教育研究評議会に付議することとした。

4. 東京大学 Y-tec 招へい者受入れ実施要項の制定（資料4）

玄田理事から、東京大学 Y-tec 招へい者受入れ実施要項の制定について、資料4のとおり説明があった。

次いで、津田理事から本件について諮り、審議の結果、原案を一部修正の上、了承された。なお、修正箇所の対応については、総長に一任された。

・「Y-tec 招へい者」という名称について、招聘された者であることが分かりにくいいため、別の名称とする余地はないか。

→名称について検討し、必要に応じて JST にも確認した上で、変更する場合は総長の了解を得て進める。

5. 2025年度 LOTUS プログラムにおける授業料の取扱いの変更（資料5）

玄田理事から、2025年度 LOTUS プログラムにおける授業料の取扱いの変更について、資料5のとおり説明があった。

次いで、津田理事から本件について諮り、審議の結果、原案どおり了承された。

6. 東京大学協創プラットフォーム開発（株）の代表取締役の追加に係る株主総会の開催（資料6）

菅野理事から、東京大学協創プラットフォーム開発（株）の代表取締役の追加に係る株主総会の開催について、資料6のとおり説明があった。

次いで、津田理事から本件について諮り、審議の結果、原案どおり了承された。

議題7から議題10については、書面による審議を行い、津田理事から質問等の有無を確認した。

7. 規則の制定・改廃手続きについて（総長選考会議が定めるものを除く）の一部改正（資料7）

規則の制定・改廃手続きについて（総長選考会議が定めるものを除く）の一部改正について審議し、原案どおり議決した。

8. 教育研究部局附属の教育研究施設の設置・廃止等の手続きについての一部改正（資料8）

教育研究部局附属の教育研究施設の設置・廃止等の手続きについての一部改正について審議し、原案どおり議決した。

9. 学生の休学の基準等の一部改正（資料9）

学生の休学の基準等の一部改正について審議し、原案どおり了承され、教育研究評議会に付議することとした。

10. 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正（資料10）

東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正について審議し、原案どおり了承され、教育研究評議会に付議することとした。

・今後は空いたポストの運用も含めて学術経営本部で確認することになるのか。

→本件は任期制の設定・廃止に関する案件であるが、ポスト運用との関係も含めて整理が必要であるため、今後検討する。

<協議事項>

11. カスタマーハラスメントに対する基本方針の策定（資料11）

林理事から、カスタマーハラスメントに対する基本方針の策定について、資料11のとおり説明があった後、意見交換を行った。

・基本方針の策定について、部局等から意見が上がっているのか、又はまだ周知していない状況なのか。

→現時点で部局に基本方針の策定を照会している状況ではなく、日々寄せられる案件を踏まえて大枠を作成している。

- ・カスタマーハラスメントについては、部局で担当部署をすぐに特定できるか分かりにくく、意見聴取の際に混乱が生じる可能性があるのではないか。

→現時点で担当体制は整備されていないが、基本方針の策定後、各部局に担当者を置くことも考えられる。

- ・カスタマーハラスメントは教職員を守る観点から、組織として一定程度対応する必要があり、この方針で進めるべきである。
- ・就活セクハラについても表面化しにくい課題であり、今後、法令に則って本学でも対応を検討する必要がある。

1 2. 次回大学機関別認証評価の受審機関・受審時期（案）（資料 1 2）

山本理事から、次回大学機関別認証評価の受審機関・受審時期（案）について、資料 1 2 のとおり説明があった後、意見交換を行った。

- ・法人評価と認証評価の実施時期が重なり、業務が集中しないか。

→法人評価は令和 1 0 年度に最終評価を受ける見込みであるが、主な自己評価作業は 4 年目評価時に行うため、6 年目評価の負担は大きくない。

1 3. 部局長等会議に係る総長裁定の制定及び東京大学基本組織規則等の改正（資料 1 3）

山本理事及び津田理事から、部局長等会議に係る総長裁定の制定及び東京大学基本組織規則等の改正について、資料 1 3 のとおり説明があった後、意見交換を行った。

- ・部局長等会議は主に意見交換を行う場であり、意思決定は教育研究評議会で行う整理でよい。

→現在もその位置付けであり、部局長等会議は議決機関ではないため、構成員とオブザーバーの区別をなくし、全員を構成員とすることにした。

- ・1 0 月以降は科所長会議がなくなり、部局長等会議となることを確認した。

1 4. 国際交流協定等の新規締結・更新・終結（資料 1 4）

林理事から、国際交流協定等の新規締結・更新・終結について、資料 1 4 のとおり説明があった後、津田理事から質問等の有無を確認した。

< 報告事項 >

1 5. UTokyo College of Design（価値創造学部／価値創造学科）の設置（資料 1 5）

森山理事及び小関執行役から、UTokyo College of Design（価値創造学部／価値創造学科）の設置について、資料 1 5 のとおり報告があった。

- ・開設日は 4 月 1 日とする予定か。

→4 月 1 日開設としたい。

1 6. 令和 7 年度監事監査報告書（修正報告）（資料 1 6）

亀井監事から、令和 7 年度監事監査報告書について、資料 1 6 のとおり報告があった。

1 7. 令和 8 年度社会連携講座等にかかる運営状況調査の報告（資料 1 7）

玄田理事から、令和8年度社会連携講座等にかかる運営状況調査の報告について、資料17のとおり報告があった。

- ・調査2件に対して留意事項が2点あったことについて、調査担当としてどのように受け止めているか。

→軽微とは考えておらず、丁寧に確認すれば問題が見つかることを踏まえ、今後もしっかり確認していく必要がある。

- ・再生モニタリング委員会のヒアリングでは、実際の運用状況を率直に共有し、改善につなげる機会とすべきである。

18. 再生モニタリング委員会による第2四半期ヒアリングの実施（資料18）

井上理事から、再生モニタリング委員会による第2四半期ヒアリングの実施について、資料18のとおり報告があった。

- ・監事としてもガバナンス改革の進捗状況を監査する必要がある、再生モニタリング委員会のヒアリングに可能な範囲で陪席し、難しい場合は議事録を確認しながら効率的に監査を行いたい。

→同席について了承し、日程等の共有状況を事務的に確認する。

19. 消費税修正申告（資料19）

菅野理事から、消費税修正申告について、資料19のとおり報告があった。

20. 令和9年度概算要求（教育研究活動充実分）要求事項（資料20）

相原理事から、令和9年度概算要求（教育研究活動充実分）要求事項について、資料20のとおり報告があった。

21. 令和9年度文部科学省概算要求（資料21）

相原理事から、令和9年度文部科学省概算要求について、資料21のとおり報告があった。

- ・運営費交付金の増額要求は第5期のベースラインとして重要であり、確保してほしい。
- ・運営費交付金の要求額について、法人化時を上回る水準に戻ったとの認識を示した。

22. 令和9年度施設整備費補助金概算要求（資料22）

菅野理事から、令和9年度施設整備費補助金概算要求について、資料22のとおり報告があった。

23. 2026年度D&Iへの理解の深化・定着促進セミナー実施報告（資料23）

林理事から、2026年度D&Iへの理解の深化・定着促進セミナー実施報告について、資料23のとおり報告があった。

- ・セミナーで会場の雰囲気への懸念があった点について、科所長会議等で共有し、具体的な事例を少し詳しく説明した方がよい。

24. 構成員支援と包摂的環境に関する部局別教職員（FD・SD）研修の実施（資料24）

林理事から、構成員支援と包摂的環境に関する部局別教職員（FD・SD）研修の実施について、資料２４のとおり報告があった。

２５．国における給与制度等の動向（資料２５）

井上理事から、国における給与制度等の動向について、資料２５のとおり報告があった。

<連絡事項>

議題２６から議題３４については、書面による連絡を行い、津田理事から質問等の有無を確認した。

２６．リスクガバナンス及びリスクカルチャーに関する意識調査へのご協力のお願い（資料２６）

２７．競争的研究費等の適正な執行管理及び不正使用防止の徹底（資料２７）

２８．令和８年度東京大学秋季式典（資料２８）

２９．令和８年度研究倫理セミナーの開催（資料２９）

３０．令和８年度ストレスチェックの実施（資料３０）

３１．令和８年度本部防災訓練および安否確認訓練の実施（資料３１）

３２．第１４２回公開講座の実施結果および第１４３回公開講座の開催（資料３２）

３３．１０００万円以上の寄附受入決定報告（令和８年６月・７月分）（資料３３）

３４．来週・再来週の会議（資料３４）

以上